

なかよく 令和6年度 1月号 かしこく 150th Anniversary 元気よく

令和7年2月3日 文責 黒木 幸博

150周年記念式典＆学習発表会

今年の学習発表会は、150周年記念式典もありましたので、保護者だけでなく、たくさんの方に見ていただきました。ありがとうございました。

発表会は、成果を見せることが大切ですが、その過程にあるみんなで協力して作り上げたり、緊張やプレッシャーを乗り越えたりなどの経験がとても重要であり、子供たちを大きく成長させてくれます。

雨の影響で聞こえにくさはありましたが、当日の子供たちの姿、とてもすばらしいものでした。それまでの本人と周りの仲間の努力に敬意、そして先生方の支援に感謝です。



学校HPの紹介

今年も、子供たちの日々の様子を紹介していきます。右のQRコードからご覧ください。



150周年式典 校長挨拶概要

以下の話をしています。

湯前小学校が創立された150年前、現在のように全員が入学し、通学できた時代ではありません。当時、就学率は32%、3人に1人しか小学校で学べない時代でした。それから時代は、明治、大正、昭和と流れ、全ての子供たちが学校に通うことが普通にできるようになりました。この湯前小学校では、児童数が一番多かったとき、80年ほど前の昭和25年頃、1400人を超える子供たちが、小学校に登校し、勉強していたと記録に残されています。そして、この時期、想像するのが難しいかもしれません、小学校が火事になり、校舎と講堂（今でいうと体育館）が燃えてしまっています。当時の子供たちはもちろん、湯前町の方々は、火事の恐ろしさ、たいへんさを、身をもって感じたことでしょう。

そして、火事から2年後、今の「校歌」がつくられています。私たちが今歌っている校歌は80年以上歌い継がれてきています。また、学校が目指す児童像「なかよく」「かしこく」「元気よく」は、私（校長）が小学生の頃にはありましたので、これも50年以上続いているものです。

明治時代につくられた学校は、大正、昭和、平成を経て、令和時代と続いています。児童数は152人です。人数は少なくなりましたが、この湯前小学校は、良き伝統を引き継ぎながら、地域の学校として、昔と変わらず、地域の皆様に愛される学校のままであります。これからも、そうあってほしいと思います。そして、この湯前小学校を卒業した全ての人にとって「心の拠り所」となる存在であり続けてほしいと願っています。

学校運営協議会

今回、今年度の学校の取組の紹介と12月に実施した「学校評価（児童、保護者、職員）」の結果の報告を行いました。協議会で出された意見等を参考に、今後の取組、そして来年度の学校運営計画を作成していきます。

学校評価に協力していただいた保護者の皆様、そして学校運営協議会の皆様、ありがとうございました。



校長より

校長室前の【今月の言葉】

「悪いところは誰でも見つけられるけど、いいところを見つけるのは、そのための目を磨いておかないとできない。」

映画監督だった黒澤明さんのことばです。

「ほめて伸ばす」と言われますが、「ほめる」ことは「いいところを見つける“目”」を必要とする高度な技能です（誰にでもできることではありません）。私たち教員は、そして保護者の方々も、子供たちを「ほめる」ことができるよう（できている方はさらにできるよう）、目を磨き、心を豊かにしていくことが大切ですね。

子供たちも、友だち関係を深める、広げるためのポイントは目を磨き、心を豊かにすること！ 今年も成長していきましょう。